



阿仁前田獅子踊り保存会

地域住民の手作り一大イベント 第25回 たなばた火まつり

「第25回森吉山麓たなばた火まつり」が8月7日、阿仁前田河川公園を会場に開催され、大勢の見物客が訪れ郷土芸能やダンス、花火などを楽しみました。この行事は前田地区の集落単位で行われていた七夕行事を一堂に集め、地区の活性化と伝統芸能継承を目的に一大イベントとして盛り上げようと始まったものです。開催にあたっては、前田地区の地域活性化組織「森吉山麓村おこし会（池田文明会長）」が中心となり、子ども会、婦人会、青年団、老人クラブなどに運営の一翼を任せています。地域住民一人一人が役割分担、協力しながら手作りイベントを定着させることにより、希薄になりつつある世代間の交流の促進を図るとともに、愛郷意識、地域連帯感の醸成を促進することを目的に行っています。イベントは第一部「たなばたまつり」と第二部「たなばた火まつり」の二部構成で行われました。

「第一部 たなばたまつり」

第一部「たなばたまつり」は午後4時から始まり、前田小学校児童のロックソーランや前田保育園児のお遊戯、森吉ダンスキッズ、FUTATSUIドリームキッズが元気なダンスを披露したほか、根森田七福神踊り、たなばた踊り、無形民俗文化財に指定されている阿仁前田獅子踊りが伝統芸能を披露しました。その後は、地元出身ロックバンドのナイトメアが迫力ある演奏をし、会場を盛り上げました。日が沈み、辺りが夕やみに包まれた午後7時には、祖先の供養と豊作、家内安全など、各地区で地域の願いを込めて作られた絵灯籠が行列となり、会場内をお囃子に合わせて練り歩きました。

「第二部 たなばた火まつり」

第二部「たなばた火まつり」は午後7時50分から始まり、火まつりセレモニーで池田会長は「この火まつりが25回目を迎えることができたのも、地域の皆様や市のご協力があったこそ。今回は『がんばろう東北』をテーマとし、北秋田市に避難されている方々を招待させていただきました。今日は各地区の青年団が作った色々な火を楽しんでもらいたい」と来場者を歓迎しました。

続いて来賓の虻川副市長は「例年8月7日には、地域に元気を与えてくれるイベントを催していただき感謝申し上げます。一時は東日本大震災の影響で各イベントが自粛することもありましたが、今では逆に日本を、地域を盛り上げようと多くのイベントが行われています。今後もこのお祭り地域を盛り上げていくとともに、皆さんの夏の思い出になることを祈念しています」などあいさつしました。

対岸の河川敷には森吉山をかたどった炎のラインや「がんばろう東北」「森吉山火まつり」「七夕供養」「絆」などの火文字が浮かび上がり、阿仁川の川面を赤く照らしました。この後、火祭太鼓の迫力ある演奏で会場が盛り上がる中、割物やスターマインなどの花火が次々に打ち上げられたほか、大館能代空港を離着陸する飛行機や阿仁川を泳ぐ鮎などを仕掛け花火で演出。最後に全長145・4m（森吉山の10分の1）の大ナイアガラと超特大スターマインが華やかに火まつりを締めくくりました。



前田小学校



森吉ダンスキッズ



futatsuiドリームキッズ